

新ETF設定・交換プラットフォーム 説明会

株式会社東京証券取引所 株式部
株式会社JPX総研 ITビジネス部
株式会社日本証券クリアリング機構

2025/2/26, 27



新システム名称



(読み：クレドネックス)

Creation/Redemption
(設定交換)

+

Nexus
(つながり)

設定交換に**高速性**と**快適性**をもたらします

CredNexでは、設定交換に係る

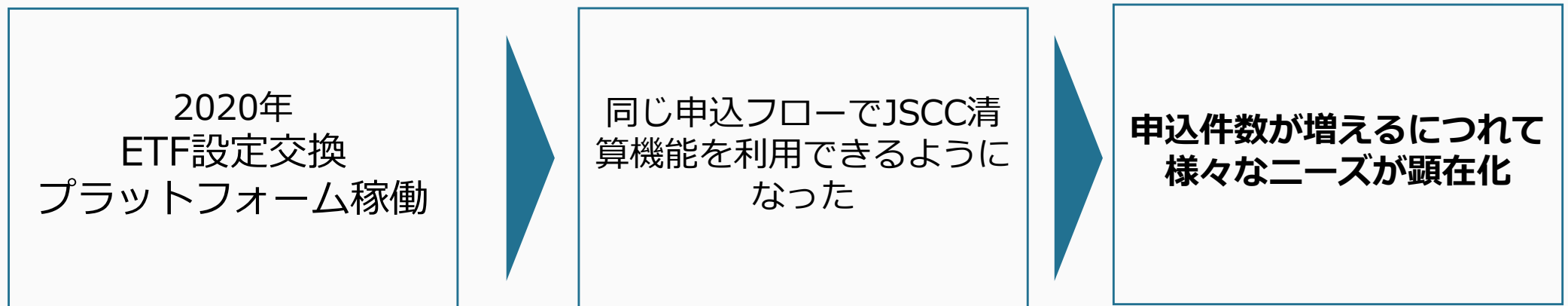
申込・承諾

清算申込

情報授受

の取次サービスが利用可能です

- ETFの市場規模拡大に伴い、流動性の源泉である設定交換の重要性も増大
- 2020年に現行のETF設定交換プラットフォームが稼働したものの、ETF市場の拡大に伴う処理数増大に起因して問題点が現れ、今後の市場成長のために環境改善が必要



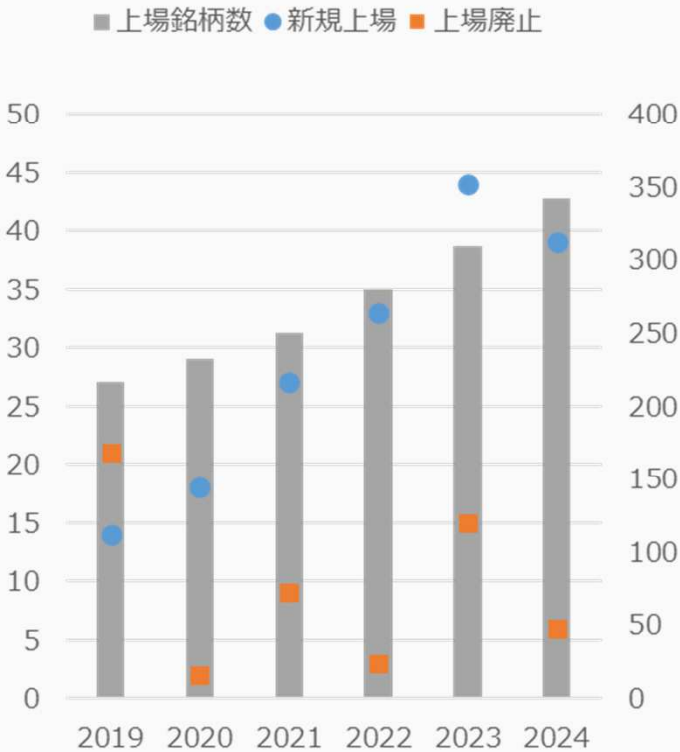
具体的な問題＝設定交換に時間がかかる

- マニュアル作業が多いため、特に指定参加者における作業負荷が高く、**1日に対応可能な件数に限界**
- 業務フローの非効率性により、実質的な**設定交換申込時限が早い**現状（流動性供給者が立会時間終了まで流動性を提供できない要因に）

(参考) ETFの市場規模の拡大

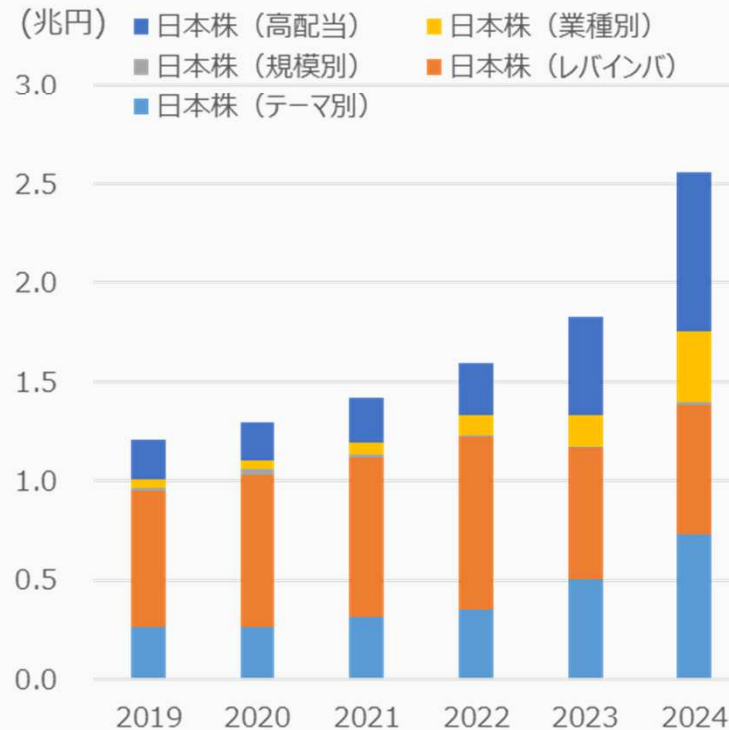
- 銘柄数・残高・売買代金のいずれも急激に拡大している

上場銘柄数



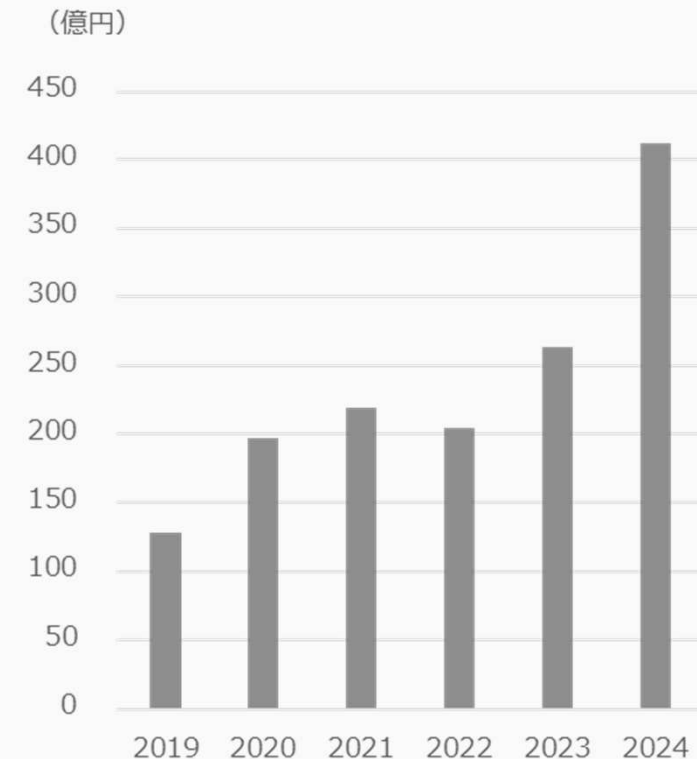
純資産残高

日本株（市場別以外）
= 日銀を含まない



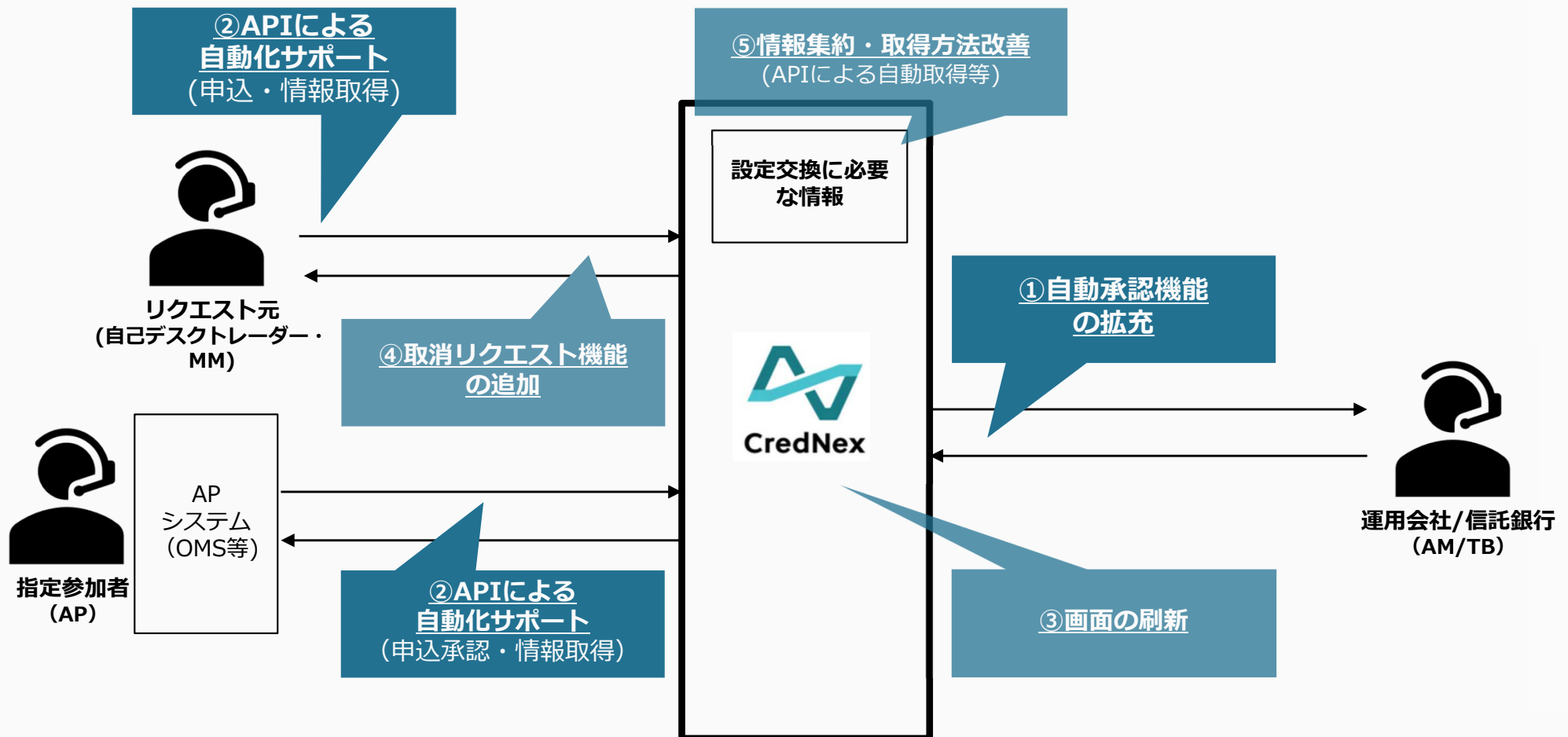
立会内売買代金

（日本株ETF）



※出所：東京証券取引所

- APIの提供や自動承認機能の実装により、**申込から承認までの時間を現行から大幅に短縮**
- 手動オペレーションを排除することで、**引け直前まで自己デスクのトレーダーやマーケットメイカー（MM）による設定交換の申込が可能**
- 申込プロセスにおける機能に加えて情報取得や画面の使い勝手についても改善



CredNexの全体像

AP

AM

TB



★は今回新しくなる機能（※1）

		AP	AM	TB
事前準備	PCF	取得 (GUI/API) ★	登録/削除 (GUI)	取得 (GUI)
	申込受付不可日	取得 (GUI/API) ★	登録/削除 (GUI)	取得 (GUI)
	銘柄マスタ (自動承認設定含む)	取得 (GUI/API) ★	登録/変更 (GUI) (※2) ★ 債務引受設定含む	取得 (GUI)
申込	申込	登録/承諾 (GUI/API) ★	承諾 (自動/手動) ★ 債務引受申込含む	
	取消申込	登録/承諾 (GUI/API) ★	承諾 (自動/手動) ★	
	申込情報	取得 (GUI/API) ★	取得 (GUI/API) ★	取得 (GUI)
計算書	計算書	取得 (GUI/API) ★	登録/変更 (GUI)	取得/承認/差戻 (GUI) ★

※1：記載の機能はあくまで現段階の想定であり、確定情報ではない。また、各機能のリリース時期目安については、P.12~13「リリース計画」を参考

※2：銘柄マスタは、銘柄コードや決済スケジュール、債務負担区分等の一部項目は申請書を基にJPXが登録し、申込時限や自動承認条件等の項目は、AMがCredNexにCSVファイルを直接アップロードして登録する形式に変更となる

- 自動承認機能において細やかな条件設定が可能となり、自動承認がご利用いただきやすいものに（※1）。設定した条件に抵触した申込は、自動では承認されず、手動で承認。
- 自動承認条件は、各銘柄の設定・交換別に設定可能。銘柄マスタの設定項目に含まれる。

【設定可能な条件（※2）】

日付チェック		申込日を当日に限定		: 初回稼働（2025年9月）から提供開始予定		
				: 本稼働（2026年6月予定）以降提供開始予定		
サイズ チェック	1申込あたり	上限口数	残存口数 比率	上限金額	上限 ユニット数	
	申込日あたり 累計	上限口数	残存口数 比率	上限金額		
	ネッティング ※3	上限口数	残存口数 比率	上限金額	残存口数※4	

※1：自動承認機能の利用は必須ではなく、オプションとして利用可能。また、自動承認機能の拡充に加え、申込内容のバリデーションチェックも強化（申込単位や、金銭対象銘柄ありの場合の時限等のチェック追加を予定）。バリデーションチェックの詳細は、2025年5月頃公開予定。

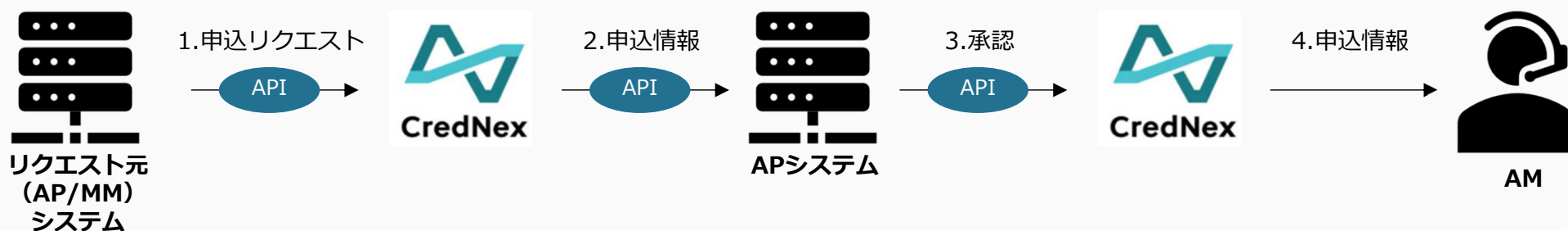
※2：上記設定可能な条件はあくまで検討段階であり、確定情報ではない。各機能のリリース時期目安については、P.12～13「リリース計画」を参照。

※3：同一申込日における設定と交換をネッティングした値（設定の場合は「設定累計-交換累計」で計算）の上限を設定可能

※4：残存口数が一定の口数を下回った場合にアラートを上げるよう設定可能

- ・ 従来の画面における操作に加え、**Web-APIのご利用が可能**（※1）
- ・ 第一段階として、AP向けの機能（申込～AP承認、各種情報取得※2）がAPIでご利用可能に。AM向けの機能（申込情報のAPI取得等）についても順次拡大予定
- ・ 一連の作業にAPIを活用することで、自動化を推進

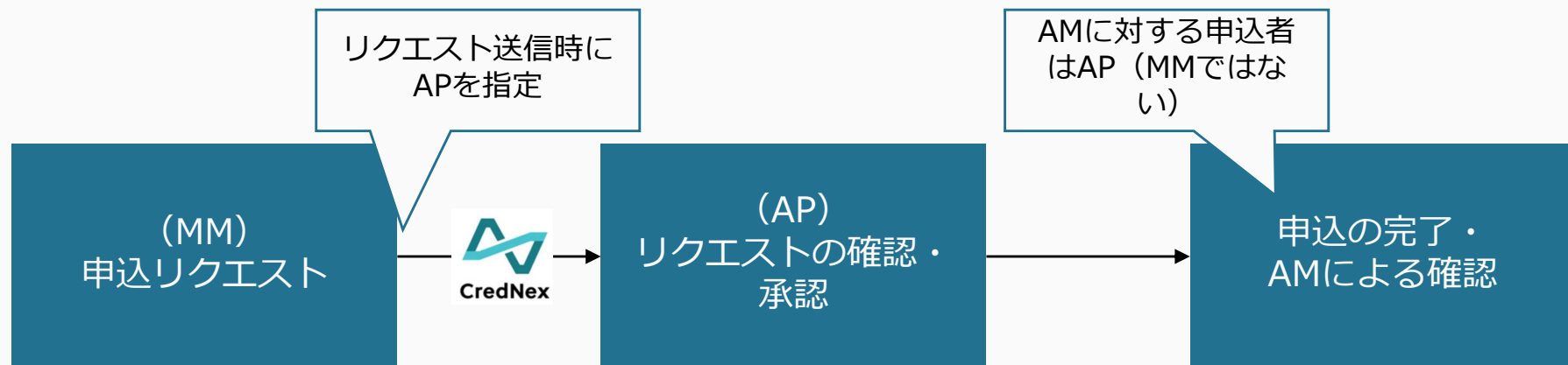
【APIを利用した申込フローのイメージ】



※1：仕様の詳細は、「ETF Creation Redemption Platform (CredNex) API Specification」を参照。説明会時点での1.0版の公開後、ユーザー要望により仕様変更が発生する可能性あり。その場合、各ユーザーと協議の上、変更内容の周知および改版した仕様書を公開予定。

※2：申込不可日一覧、計算書、銘柄マスタ、設定交換PCFを指す。json形式での取得が可能

- MMがCredNexに接続し、**直接申込リクエストの送信（※1）**や**情報取得が可能**
- リクエスト送信時に指定された**APが内容を確認し（※2）承認することで、申込が完了**
- MM向けインタフェースは、初回稼働時点ではAPIのみとなる予定



※1：MMからの申込リクエストは、APに承認されることで正式な申込となる。AMに対する申込者はAPであり、AMにMMの情報は非開示。

※2：AP各社規定のリスクチェックが実施されることを想定。申込内容のバリデーションチェックはCredNexで行う。バリデーションチェックの詳細は、2025年5月頃公開予定。

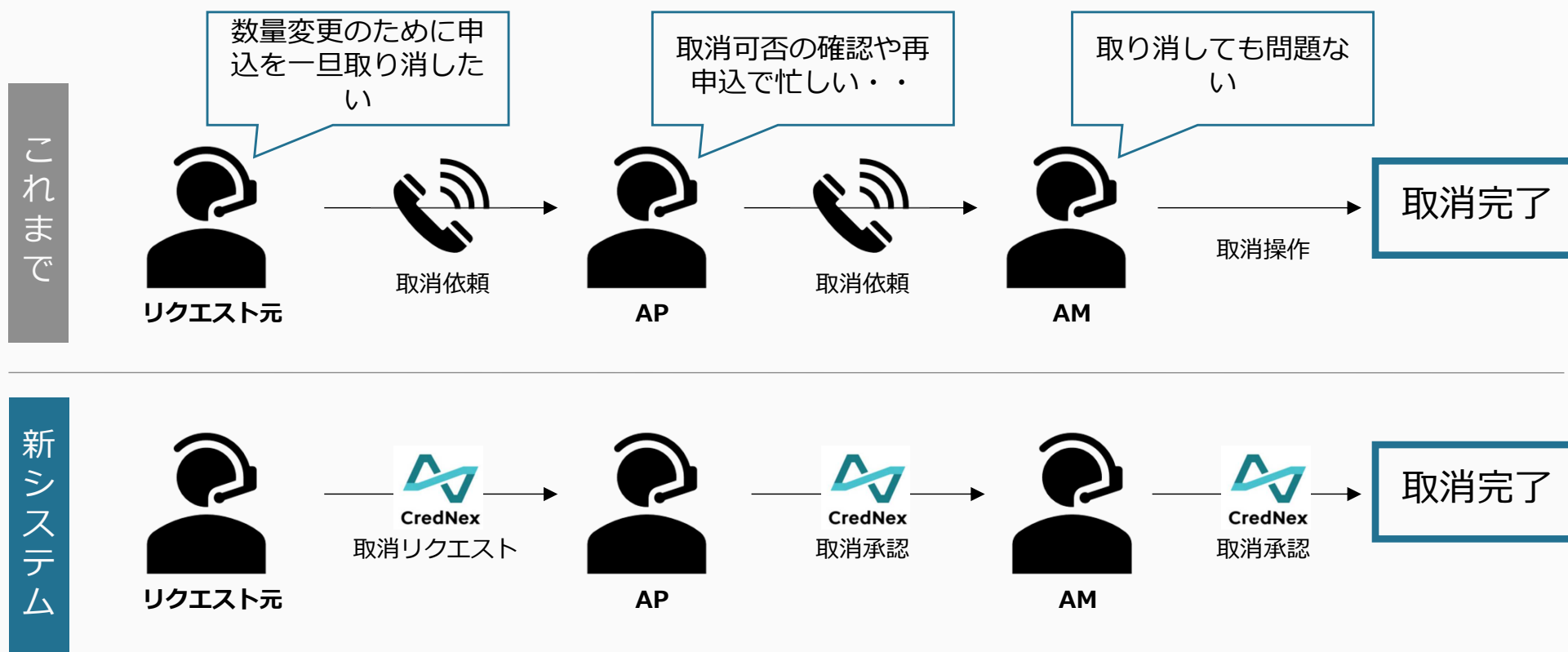
ポイント④ 取消リクエスト機能の追加

AP

AM



- AM承認前の申込に加え、**AM承認済みの申込についても、MMやAP（自己トレーダー）から取消リクエストを送信することが可能**となり、従来の電話等によるコミュニケーションコストを低減
- 取消リクエストを**AMが承認（※1）した場合に限り、申込の取消が成立（※2）**



※1：初回稼働時点では、**取消リクエストはAM向け自動承認機能の対象外**となり、都度AMの確認・承認が必要

※2：**取消リクエストは必ずしも承認される（取消が成立する）とは限らない**。なお、**取消を前提に成立意思のない申込を行うことは、規約上禁止**。

- 現行で提供している**設定交換PCF、申込不可日一覧、計算書に加え、銘柄マスタ（※1）の取得が可能**
- 各種情報はファイルダウンロードに加え、**APIによる取得も可能**となる予定
- 申込不可日一覧については、ファイルダウンロード時のフォーマットについて、カレンダー形式で確認できるものに変更予定（※2）

【取得可能情報一覧】

	【新】 API (json形式)	手動ダウンロード
申込不可日一覧	○	○ (フォーマット変更あり)
計算書	○	○
【新】 銘柄マスタ	○	○
設定交換PCF(※3)	○	○

※1：銘柄マスタは、申込時限、決済までのスケジュール、申込単位等、設定交換を申し込むにあたり必要な基本的な情報をまとめたもの

※2：AMによるアップロードファイルのフォーマットに変更なし

※3：初回稼働時点では、設定交換PCFは提供対象外。各種情報の提供開始時期目安については、P.12~13「リリース計画」を参照。

- 2025年9月29日 **初回稼働**として**金銭型ETF**を対象とした機能をリリース
 - 金銭型ETFに係る設定交換の一連の機能がリリース対象(現物型ETF特有の機能は対象外)
 - 同日に制度施行予定の金銭型ETF債務引受にも対応

2025年9月 初回稼働時リリース機能	
共通	- 申込一覧GUI - 申込一覧 ファイルダウンロード - 金銭型計算書 ファイルダウンロード - 申込不可日 ファイルダウンロード - メール通知 銘柄マスタ ファイルダウンロード 銘柄マスタ閲覧GUI
AP MM	- 申込登録GUI (金銭型) 申込登録API (金銭型) - 申込承認GUI ※MMは対象外 申込承認API ※MMは対象外 情報取得API (申込情報、計算書、銘柄マスタ、申込不可日) - 取消申込GUI・API - 取消申込承認GUI・API ※MMは対象外
AM	- 申込承認 (手動) 申込承認 (自動) - 金銭型計算書 ファイル登録 - 申込不可日カレンダー ファイル登録 銘柄マスタ ファイル登録 (基本情報、自動承認条件) - 取消申込承認GUI
TB	計算書承認・差戻GUI

※太字はCredNexで新たに搭載する機能

※記載の機能はあくまで現段階の想定であり、確定情報ではない

- **本稼働**は2026年6月予定 **現物型ETF**を対象とした全機能をリリース
 - PCF登録・取得機能等、現物型ETF特有の機能がリリース対象

2026年6月 本稼働時リリース機能	
共通	• ダッシュボード画面 • 現物型計算書 ファイルダウンロード • PCF ファイルダウンロード
AP MM	• 申込登録画面で現物型を取扱開始 • 申込登録APIで現物型を取扱開始 • 情報取得API (PCF)
AM	• PCF ファイル登録 • 現物型計算書 ファイル登録 • 申込承認 (自動承認条件の拡充) • 銘柄マスタ編集GUI (自動承認条件の拡充) • 情報取得API (申込情報、銘柄マスタ、計算書、申込不可日、PCF) • 取消申込に対する自動承認
TB	

※太字はCredNexで新たに搭載する機能
 ※記載の機能はあくまで現段階の想定であり、確定情報ではない

初回稼働（2025年9月）時点での業務フロー

AP

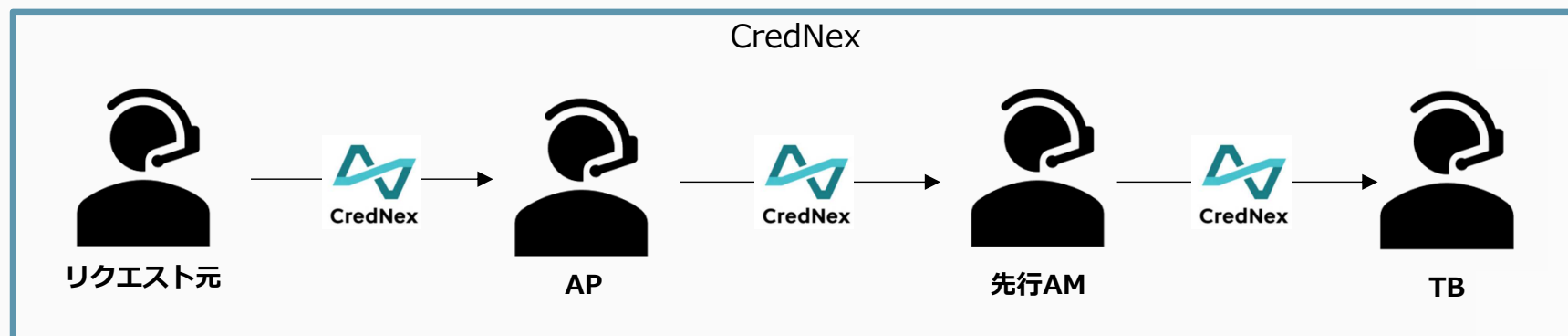
AM

TB



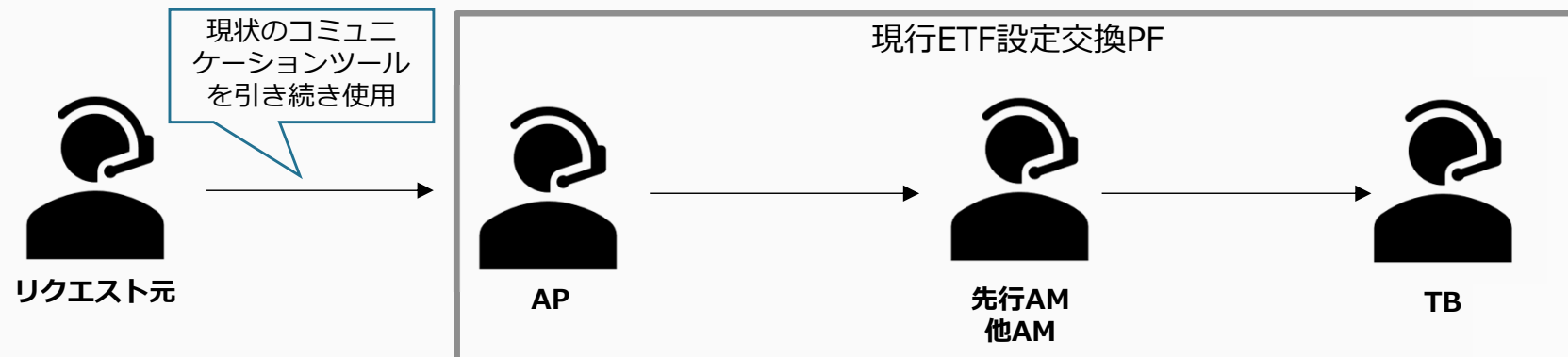
- 大手含むAM数社が初回稼働時点より「先行AM」として参画する予定
- 初回稼働以降、先行AMにおける金銭型ETF銘柄においては、CredNex経由での申込が必須。現行ETFPFでの設定交換の申込・受付が不可となる（※）
- その他の銘柄においては、現行ETF設定交換PFにて引き続き業務は継続

先行AM 金銭型



先行AM 現物型

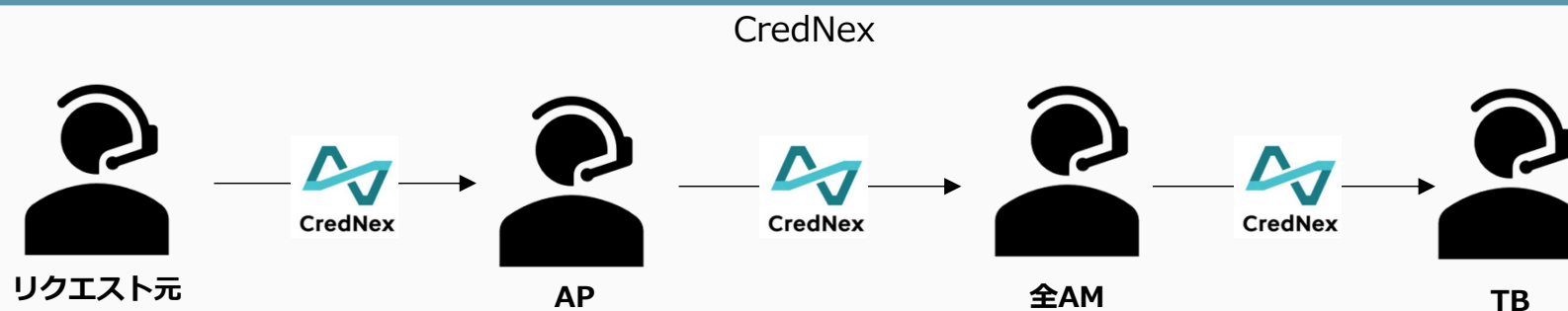
他AM 金銭型 現物型



※先行AM金銭型銘柄については、申込不可日や計算書等、各種情報についても現行ETFPFでの取得は不可

- 本稼働時に、全AMにおける全銘柄の**一斉移行**が必須
- 以降は全ユーザ・全銘柄においてCredNex（新システム）上のみで設定交換業務を行う

全銘柄



初回稼働に向けた準備事項 AM向け

AM



	先行AM 準備事項	その他AM 準備事項	CredNex事務局 提供事項
2025年4月	利用規約/申込書の確認 申請書の提出（～4月30日）	先行移行の判断 （～4月30日） <u>※この時点で申請を提出し なかったAMは、本稼働時で の一斉移行となる</u>	利用規約の公開（本日） 申込書の公開（3月上旬） テスト詳細スケジュール公開（4月中旬）
2025年5～7月	【テスト環境】ユーザテスト開始 （5月20日～）		CredNex取扱銘柄の周知（5月初） テスト環境の公開、ID・パスワードの 公開（5月20日～） テスト/仕様等のお問い合わせ対応
2025年8～9月	【本番環境】ユーザテスト開始（8月4日～） ※休日テストを8月、9月に2回予定 ユーザテスト完了（～9月12日）		本番環境の公開、ID・パスワード・ APIキーの公開（8月4日～） 休日テストの取りまとめ テスト/仕様等のお問い合わせ対応
2025年 9月29日 初回稼働	本番運用開始		
2025年10月以降 （本稼働に向けて）	現物型ETFの機能に絞った ユーザテスト （2026年3月開始予定）	金銭/現物ETFの 全機能に対する ユーザテスト （2026年3月開始予定）	本稼働向け テスト環境の公開 （2026年3月予定）

初回稼働に向けた準備事項 AP/TB向け

AP

TB



	AP・TB 準備事項	CredNex事務局 提供事項
2025年4月	利用規約/申込書の確認 申請書の提出（～4月30日）	利用規約の公開（本日） 申込書の公開（3月上旬） テスト詳細スケジュール公開（4月中旬）
2025年5～7月	【テスト環境】ユーザテスト開始 （5月20日～）	CredNex取扱銘柄の周知（5月初） テスト環境の公開、ID・パスワード・APIキーの公開 （5月20日～） テスト/仕様等のお問い合わせ対応
2025年8～9月	【本番環境】ユーザテスト開始（8月4日～） ※休日テストを8月、9月に2回予定 ユーザテスト完了（～9月12日）	本番環境の公開、ID・パスワード・APIキーの公開 （8月4日～） 休日テストの取りまとめ テスト/仕様等のお問い合わせ対応
2025年 9月29日 初回稼働	本番運用開始	
2025年10月以降 本稼働に向けて	現物型ETFの機能に絞った ユーザテスト （2026年3月開始予定）	本稼働向け テスト環境の公開 （2026年3月予定）

※現時点での計画であり、時期については変更が生じる可能性あり

全体スケジュール（予定）

AP

AM

TB



分類	2025												2026						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
マイルストーン						★初回稼働向け テスト環境開放(5/20)		★初回稼働向け 本番環境開放(8/4)		★初回稼働 本番運用開始(9/29)		★本稼働に向けたご案内			★本稼働 テスト環境開放			★本稼働 本番運用開始 (6月予定)	★現行ETFPF閉塞 金銘柄移行 (6月予定)
ユーザテスト						【テスト環境】 初回稼働向け ユーザテスト										【テスト環境】 本稼働向け ユーザテスト			【本番環境】 本稼働向け ユーザテスト(休日)
								◆休日テスト		◆休日テスト									
情報取得			◆仕様書（API・ファイル仕様） 利用規約公開 (本日)		◆制度要綱公開（JSCG） (4月下旬予定)		◆テスト詳細スケジュール公開 (4月中旬予定)						◆仕様書（API・ファイル仕様） 利用規約 改訂版 公開 (12月予定)			◆テスト詳細スケジュール公開 (2月予定)		◆ユーザマニュアル公開 (3月予定)	
							◆移行対象銘柄 ユーザマニュアル公開 (5月上旬予定)												
申請書提出			初回稼働 申請書 受付期間										本稼働 申請書 受付期間						
			◆初回稼働 利用申請書公開		◆初回稼働 利用申請締切								◆本稼働 利用申請書公開		◆本稼働 利用申請締切				

※2026年の本稼働に向けたスケジュールは現時点の計画であり、詳細は本年秋頃に改めてご案内を予定。

料金設定に関する概要

AP

AM

TB



- ・ 高騰している開発費用をカバーするために利用料金を改訂予定
- ・ CredNexの導入により、大幅な利便性向上が見込めることに加え、今後も新機能を追加していくことで、より良いソリューションの提供を目指します。

	JSCCポータルでの課金	今回の開発の影響	費用面での対応
AM向け	・ 銘柄数に応じた基本料 ・ 債務引受に応じた従量課金	・ 設定交換受付の自動化・省力化が可能 ・ 情報提供の自動化が可能 ・ 流動性供給増が見られる	・ 基本料を2割値上げ ・ 従量分は費用はそのまま上限を撤廃
TB向け	・ 固定費のみ	(なし)	(額・体系ともに変化なし)
AP向け	・ 基本料 ・ 設定交換/計算書発行の件数に応じた従量課金 ・ 債務負担の申請件数に応じた従量課金	・ 設定交換申込の自動化 ・ リスクチェックの自動化 ・ 情報取得も自動化・省力化 ・ ビジネス機会の拡大	・ 基本料を2割値上げ ・ 従量課金部分を2割値上げ ・ 債務負担の申請件数に応じた従量課金の上限を撤廃
MM向け	(現在はなし)	・ 設定交換の申込みが可能に ・ 実質的な締切の延長 ・ 情報取得も自動化・省力化	・ 基本料を設定 ※登録MMが使う場合には安価に、APが使う場合にはより安価に

※登録MM：東証の「ETFにおけるマーケットメイク制度」において指定されたマーケットメイカー

AM向け 基本料

1. 現物型あり 登録銘柄数に応じて

以上		以下	月額
0	～	5	100,000
6	～		150,000

2. 現物型なし 登録銘柄数に応じて

以上		以下	月額
0	～	5	50,000
6	～		150,000



一本化 登録銘柄数に応じて

以上		以下	月額
0	～	5	120,000
6	～	10	180,000
11	～		240,000

AM向け 従量課金

① 現物型 債務引受1件あたり

以上		以下	1件あたり
1	～		1,000
上限			50,000

② 金銭型 債務引受/設定交換1件あたり

以上		以下	1件あたり
1	～		500
			50,000



① 現物型 債務引受1件あたり

以上		以下	1件あたり
1	～	50	1,000
51	～		800

② 金銭型 債務引受/設定交換1件あたり

以上		以下	1件あたり
1	～	50	500
51	～		400

TB向け 基本料

全社

1ヶ月あたり	100,000
--------	---------



全社

1ヶ月あたり	100,000
--------	---------

AP向け 基本料

全社		
1ヶ月あたり		50,000

全社		
1ヶ月あたり		60,000

AP向け 従量課金

設定交換申請機能

現物型 (1件あたり)	1,000
金銭型 (1件あたり)	500

計算書授受機能

現物型 (1件あたり)	1,000
金銭型 (1件あたり)	500

設定交換申請機能

現物型 (1件あたり)	1,200
金銭型 (1件あたり)	600

計算書授受機能

現物型 (1件あたり)	1,200
金銭型 (1件あたり)	600

債務負担申請

①現物型

以上	以下	月額
1	~ 4	50,000
5	~ 8	100,000
9	~ 12	200,000
13	~ 20	300,000
21	~ 40	400,000
41	~ 100	500,000
100	~	600,000

②金銭型

1件あたり	500
-------	-----

※今は金銭の債務引受はなし

債務負担申請

①現物型

20件まで	1件あたり	12,000
21件~ 50件まで		9,000
51件~ 100件まで		6,000
100件~		3,000

②金銭型

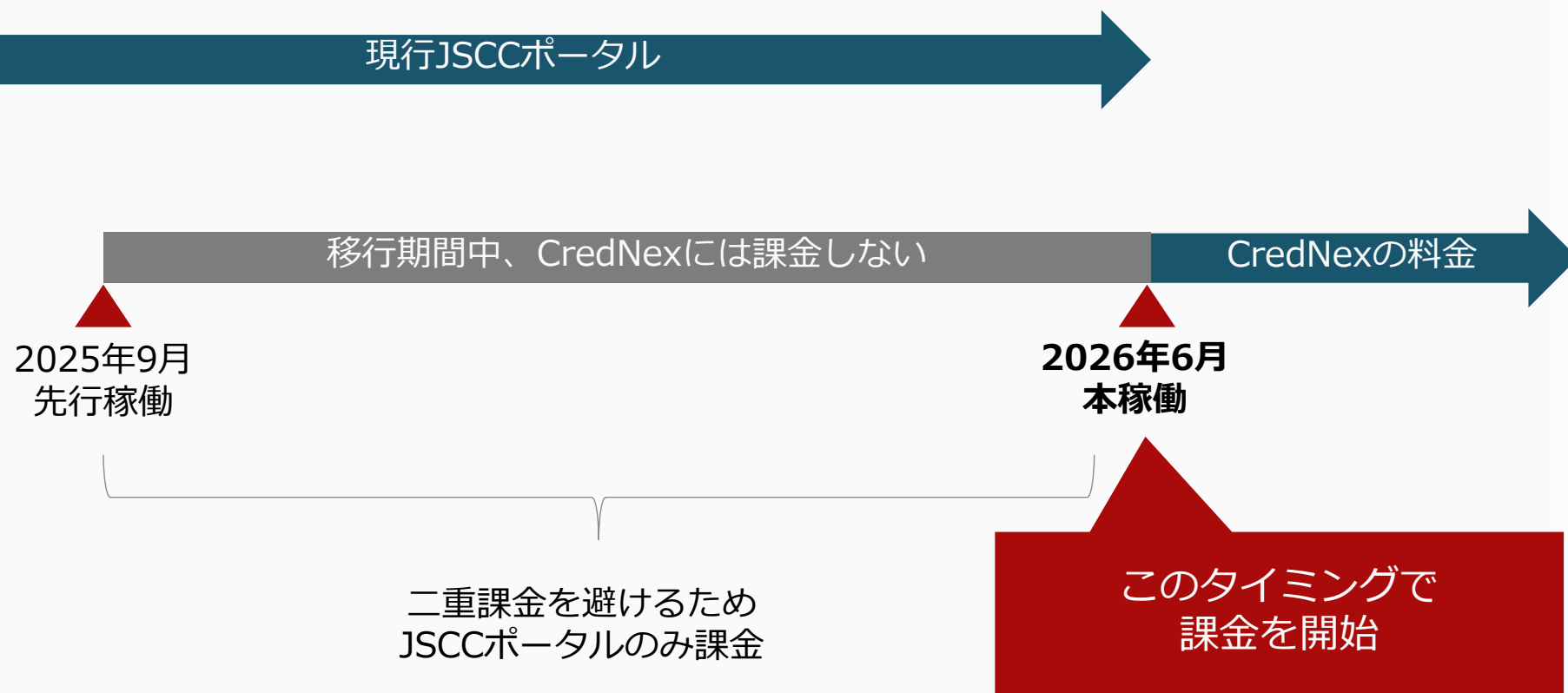
1件あたり	1,000
-------	-------

申込者機能 基本料

全社		
APの場合		50,000
指定マーケットメイカーの場合		100,000
それ以外の場合		200,000

- 部分移行を予定

→移行期間であることを考慮して、全社が移行が完了した時点から課金を開始。それまではCredNexの利用料は無料



- ・ 初回稼働に係る申請書については、3月頃に配布を開始（※1）して、申請を受付開始予定。
- ・ 申請書をダウンロードいただき、メールで送信いただく形となる想定（※2）。

ユーザータイプごとの申請書

	ユーザー登録・追加・削除 （責任者登録）	本番申請	API申請	銘柄マスタ （※3）	指定参加者マスタ	取扱MM申請
（説明）	CredNexを使うユーザーを申請します	テスト環境の登録内容を本番環境にも登録します	IPアドレスを登録してAPIの払出を行います（※4）	CredNexで取扱う銘柄・信託銀行を申請します	銘柄ごとに指定参加者を指定します	指定参加者が、自社を申込先として指定出来るMMを指定します
AM	○	○	○	○	○	
AP	○	○	○			○
TB	○	○				
MM	○	○	○			

※1：今後申請書を配布予定。申請書の内容は上記と変更になる可能性がある

※2：将来的にはプラットフォーム上での申請となる、可能性がある

※3：銘柄マスタは、銘柄コードや決済スケジュール、債務負担区分等の一部項目は申請書を基にJPXが登録し、申込時限や自動承認条件等の項目は、AMがCredNexにCSVファイルを直接アップロードして登録する形式に変更となる

※4：グローバルIPアドレスは原則、個別IP（複数指定可）を指定する

- 情報取得方法
 - 仕様書・申請書等のドキュメントおよびテストスケジュール詳細等の情報については、以下の専用ポータルサイトに公開予定
<https://jpxsystem.com/doc/etfpf/doku.php>
- 通知方法
 - ポータルサイトの更新時やその他のお知らせに関しては、以下のメールアドレスより各ユーザに通知
 - 説明会参加申請時にメールアドレスを登録いただいた方に関しては、宛先として自動登録されるため登録不要
 - 他に通知先として登録したいメールアドレスがある場合は、以下のメールアドレス宛に、メールタイトルに社名と氏名を記載した上でメールを送信ください
ask-crednex@jpx.co.jp

- 質疑応答は時間の都合上、別途受付といたします
- FAQ受付方法
 - 今回の対応に伴う質問につきましては、下記メールアドレスまでお問い合わせください
ask-crednex@jpx.co.jp
- FAQ公開方法
 - 皆様からお問い合わせいただいた事項のうち、周知が必要と判断するものについては、社名を非公開にした上で以下のポータルサイトで随時掲載いたします
<https://jpxsystem.com/doc/etfpf/doku.php>



ご清聴ありがとうございました

Appendix

移行に伴う現行PFにおける手続きのご案内

AP

AM

TB



- 移行に伴う**現行PFを対象とした**申請につきましては、下記移行パターン①または②に従って、所定の申請書をTarget-JSCCサイトを通じてご提出ください。

移行パターン		申請者	必要となる申請書	提出期限	留意事項
① 部分移行	一部銘柄のみを新PFへ移行し、 現行PFも使い続ける場合(金 銭型のみ先に移行する場合を 想定)	AM	ETF銘柄マスタ登録 申請書	移行予定日の 2週間前まで	- 移行日において、現行PFの当該銘柄の指定参加者及び受託銀行が無効化されます。 - AM様におかれましては、AP/TB様への事前連絡等をお願いします。 全銘柄が新PFへ移行され、現行PFの利用を停止する際には②の申請も行っていく必要がございます。
② 完全移行	新PFのみの利用に切替え、現 行PFの利用を停止する場合 (2026年6月の本稼働時を想 定)	全業態	ETF設定・交換プ ラットフォーム 利用申請書	利用停止予定日の 1ヶ月前まで	- 利用停止日において、現行PFのユーザーID・銘柄マスタ・指定参加者マスタ等の各種情報が全て無効化されます。 - 利用停止日の属する月の翌月以降、現行PF利用料は発生しません。

- 新PFは東証が運営主体となるため、PFリプレイス後、各社の移行が完了したタイミングでJSCCにおけるETFPF関係の申請書類は廃止します。
- なお、清算業務に関する手続きにつきましては、PFリプレイス後もJSCCが運営主体となるため「ETF設定・交換決済事務処理要領（ETF特別清算参加者・登録信託銀行向け）」に係る各種申請書（様式J-01～J-08）等は、引き続きTarget-JSCCサイトを通じてご提出ください。

推奨環境

CredNexはブラウザを利用したGUI画面を提供します。
以下の環境を推奨環境としています。

OS : Windows 11またはそれ以降

ネットワーク : ブロードバンド インターネット接続

ブラウザ : Microsoft EdgeまたはGoogle Chrome